



原中央の風

令和元年 6 月 28 日発行 No.6



梅雨本番です。もし台風や集中豪雨等で登下校が危険な場合は、自宅待機をし、保護者や学校の指示に従ってください。

心温まるお手紙

先日開催した体育祭は、生徒の皆さんのおかげで大いに盛り上がりました。走る、跳ぶ、応援、演技、係仕事など、どれをとっても手を抜かず、一生懸命表現していたことが大変嬉しかったです。また、それを見ていた友達や先生、そして保護者・地域の方々にも伝わったと思います。

この体育祭で自分の子どもの様子をしっかりと見ていた保護者から、お手紙をいただきました。クラスメイトの暖かな言動が伝わってくる内容でしたので、保護者了解のもと紹介させていただきます。こんな生徒がいる原中央中学校って素晴らしいと、いまさらながら嬉しく思います。



体育祭、お疲れ様でした。雨が降ることもなく、無事に終わって良かったです。

体育祭、感動しました。3の4のチームワークの良さに、また一人一人のやさしさに涙が出ました。

運動が苦手な息子に気を使ってくれて、ポンポンと背中を叩いて「がんばれ」と声をかけてくれていた友達や、大縄で息子がバテバテになったら息子を抱えてくれたり、入れ替わりたち替わり、皆一緒に飛んでくれたりして、息子もうれしかっただろうと思います。普通だったら途中で抜けるのですが、最後まであきらめず飛べたのもお友達のサポートのおかげだと思います。3位だったのにもかかわらず、ブロック全体で盛り上がり、素晴らしいクラスだなと思いました。

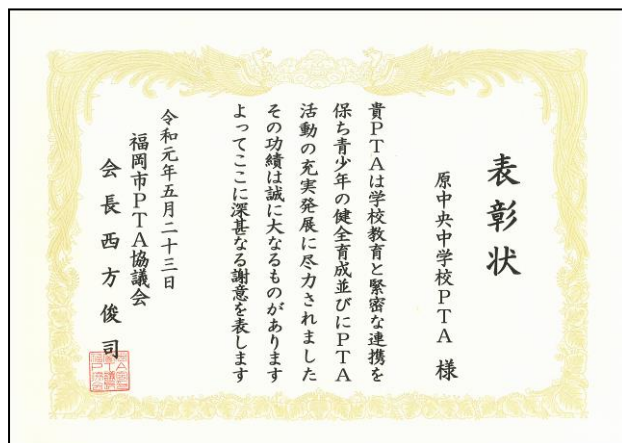
それもこれも常日頃のT先生のご指導あってのものだと思います。終了後も「A君」と声をかけてくれるお友達もいて、優しいクラスメイトに出会えてよかったなと思っています。息子の近くで常にサポートしてくれた友達はかなり疲れただろうと思います。先生の方から、3の4の皆さんを褒めてあげてください。

本当に素晴らしい体育祭をありがとうございました。また、息子が交流に行った際にはよろしくお願ひします。

P T A が表彰されました

朝の挨拶運動や体育祭の警備、高校訪問や広報誌発行など、PTAの方々には大変お世話になっております。お仕事や家事等の合間をぬって、会合に参加されたり、お手伝いをいただいたりすると、子ども達のためにご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。

この度、これまでのPTAの取組の成果が評価され、表彰を受けました。PTA会員お一人お一人の努力の結晶だと思います。PTA会議室に掲示しておきますので、ご覧ください。



期末考査の結果を活用することの大切さ

期末考査の結果が返ってきて、一喜一憂している人もいます。テストは受けるだけでなく、その前後が大切なのです。つまり試験勉強の計画を立てて実行することや、テスト結果から自分の理解度や定着度を知ること。さらに今後どのように勉強していかなければならないかなどを反省し、次に繋げていかなければなりません。

確かに中総体や中文連大会が目の前に迫り、全力で取り組む大切な時期でもありますが、そこが勉強と部活を両立させなければならぬ大切なところ。期末考査結果が返ってきた今、何点とったかだけではなく、弱点克服のためのテストのやり直しや、試験勉強の仕方を振り返ってみましょう。



心に限界をつくらない

来年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年ですね。今から楽しみにしている人もいますが、前回リオで行われたパラリンピック開会式のコンセプトを知っていますか？それは「限界のない心」です。どのような意味なのでしょう。プロデューサーによると「心に限界はない。すべての人に心がある」ということです。

開会式の始めに、車いすに乗った人が17メートル(ビルの6階程度)の高さのスキーボード用スロープの上から勢いよく下り、ジャンプして、華麗に空中で一回転しました。世界の人々が驚く、限界を感じさせないパフォーマンスでした。

12日間、22競技、528種目が行われ、日本は17競技に132人が出場しました。その選手の中の一人を紹介します。視覚障がいのある木村敬一選手です。

木村選手は、小学校4年生から水泳を始め、2012年パラリンピック ロンドン大会で100メートル平泳ぎで銀メダル、100メートルバタフライで銅メダルをとりました。

パラリンピック リオ大会では、金メダルをめざして練習に励みました。視覚障がいがあるため、真っすぐに泳ぐことが難しく、コースロープに手をぶつけ、痛い思いをすることが多いと話されていました。爪が割れてしまうこともあるそうです。それでもタイムを縮めるために、

何回ぶつけても、痛みを負わずに泳ぎ続けて練習してきました。そして、代表選手になり、金メダルをとることを目指して努力を続けました。結果は、銀メダル2個、銅メダル2個と、惜しくも金メダルはのがしましたが、強い心は限界を感じさせません。

木村選手は、常に前向きに生きています。目標を達成したら、新たに次の目標を決めて、めざします。困難があっても負けない強い心があるのでしょう。素晴らしいと思います。

「心に限界はない。すべての人に心がある」。皆さんも自分の生活を振り返り、このことについて考えてみてください。



(イラストはスキーボードではありません)

7月の主な行事です

- | | | | |
|------|-------------------------|------|-----------------------|
| 7/ 1 | 中央・専門委員会 | 7/ 9 | 授業参観、学級懇談会
サポーター会議 |
| 7/ 3 | PTA 役員会・運営委員会 | 7/11 | PTA 高校見学 |
| 7/ 4 | 生徒会役員立ち合い演説会
生徒会役員選挙 | 7/12 | 教室ワックスがけ |
| 7/ 6 | 中総体総合開会式 | 7/19 | 1学期終業式
中文連開会式 |

※本校教頭の龍田 仁 先生が病氣療養中のところ、薬石効なく令和元年6月20日にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。